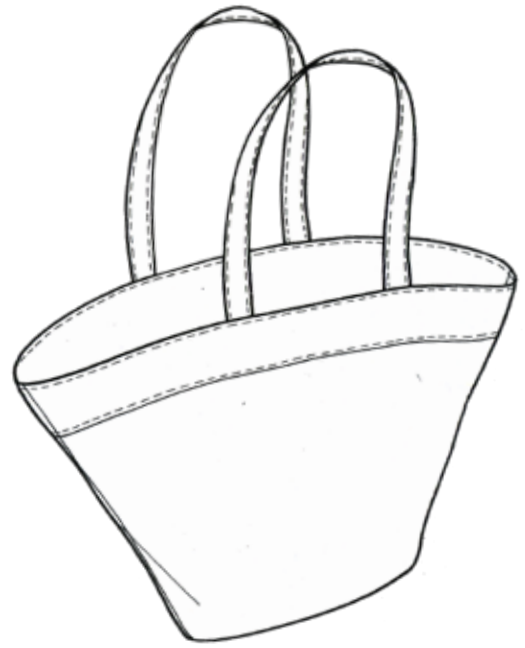


マルシェバッグの作り方

材料 (単位は全てcm)

- ・ 本体 / 8~10号帆布 幅60×長さ65
- * 夏号誌面の作品の本体には、生地を硬くする「パラフィン加工」が施された10号帆布を使用していますが、初心者には縫いづらいため、肉厚の8号帆布をおすすめします。
- * 「パラフィン加工」をしていない10号帆布を使う場合は、本体にも接着芯を貼ってください。
- ・ 口布・底・持ち手 / 11号帆布 幅90×長さ60
- ・ 中袋・中袋底 / 綿ストライプ地 幅95×長さ80
- ・ 布製の中肉厚の接着芯(口布・底に貼る) ... 幅90×長さ30
- ・ ミシン糸 (シャッペスパン 30番)
- ・ まつり糸 (返し口を手でまつる方のみ)



用具

- ・ ミシン針 (14番)
- ・ ソーイングクリップ (ダブルクリップでも代用可能)
- ・ マチ針
- ・ 裁ちばさみ
- ・ 糸切りばさみ
- ・ 定規
- ・ チャコペン
- ・ 手縫い針 (返し口を手でまつる方のみ)
- ・ アイロン

出来上がりサイズ (単位はcm)

最大幅・高さ	54×31.2
底マチの大きさ	幅26×奥行12
持ち手高さ	25

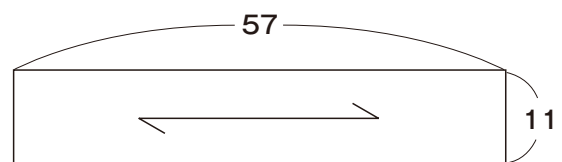
上手に縫うためのコツ

- 帆布は厚いので、仮どめにはマチ針ではなく『ソーイングクリップ』(ダブルクリップでも代用可)を使うと便利です。つける順番は「両脇→中心→その中間」にすると生地がずれません。クリップを外しながらミシンをかけてください。
- ステッチは、1センチに3針くらいにするとキレイです。
- ミシンの縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをします。

作り方

1 生地を裁断する。

型紙のファイルをダウンロードし、1ページ目の「この型紙の使い方」を参照して型紙を準備し、生地と接着芯を裁断する。持ち手(2枚)のみ、右図を参考に生地に定規とチャコペンで直接線を引き裁断する。



持ち手 (2枚)

2 口布(2枚)と底に接着芯を貼る。

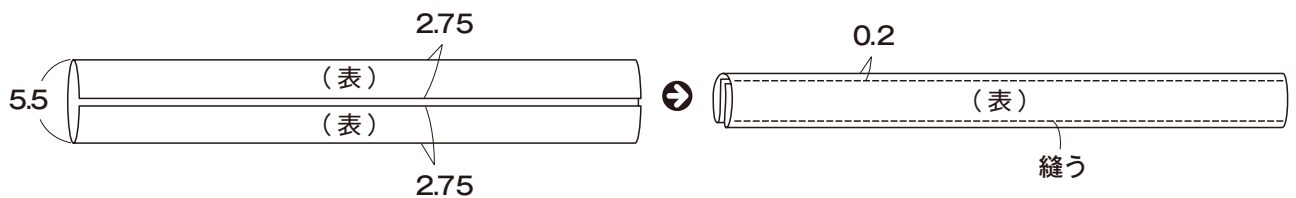
口布と底の裏面に接着芯の糊の面をのせて、芯側からアイロンを当てます。

ポイント!

アイロンは中温で、滑らず押し付けるようにかけるときれいに仕上がります(1カ所10~15秒間)。接着後は熱が冷めるまでそのままにしてください。

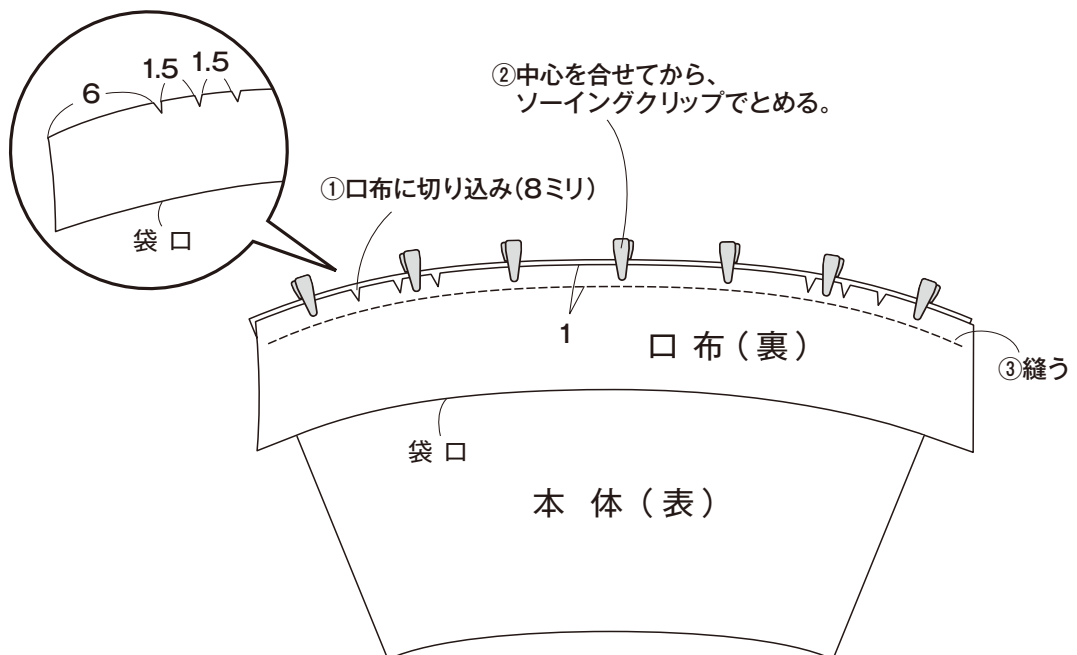
3 持ち手(2本)をつくる。

下図のようにアイロンで折り、両端から2ミリのステッチをかける。



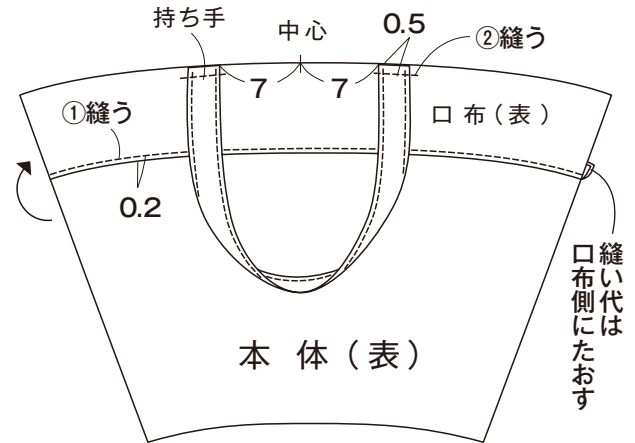
4 本体と口布を中表に合わせて縫う(2枚)。

- ・口布に8ミリの切り込みを入れる→①
- ・中心の合印を合せて、ソーイングクリップでとめる
(両脇→中心合印→中間の順でつける)→②
- ・1センチの縫い代で縫う→③



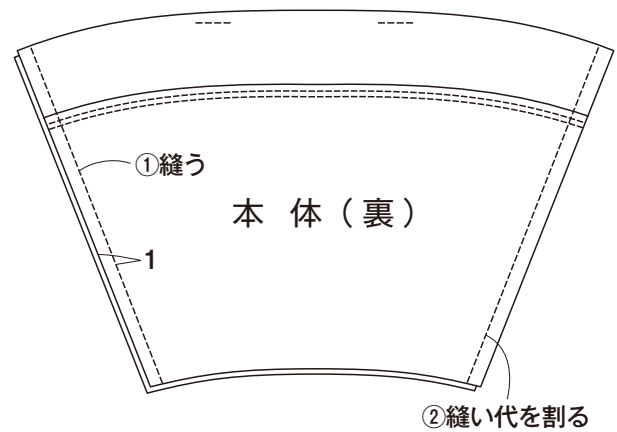
5 口布にステッチをかけて、本体(2枚)に持ち手を仮どめする。

- ・縫い代を口布側にたおして、縫い合せから2ミリにステッチをかける→①
- ・中心から7センチの部分に持ち手を合せ、5ミリのところに仮どめミシンをかける→②



6 本体の脇を縫い合わせる。

- ・本体2枚を中表に合せ(縫い合せ部分がきっちり合うように)、両脇1センチの縫い代で縫う(必要ならソーイングクリップでとめる)→①
- ・アイロンで縫い代を割る→②



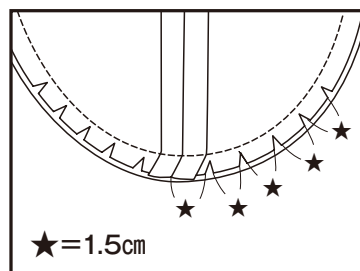
7 本体と底を縫い合わせる。

- ・本体のみに8ミリの切り込みを入れる→①
- ・本体と底を中表にし、合印を合せてからクリップでとめる。1センチの縫い代で縫う→②
- ・縫い終わったら本体を表に戻して形を整えておく。

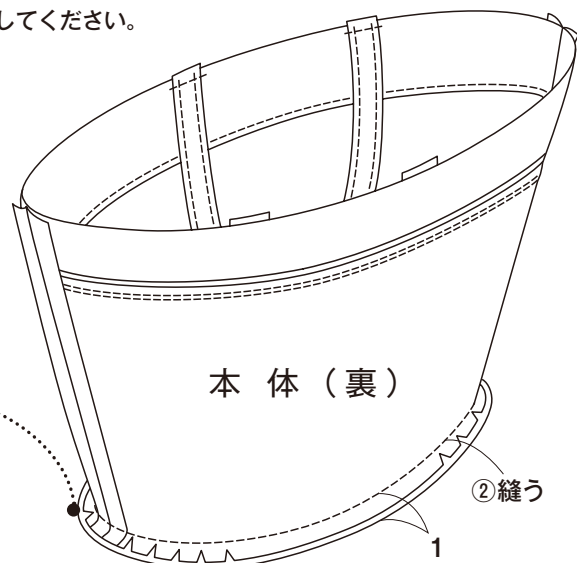
ポイント!

底を縫うときは、本体側を見ながら、底布のカーブしている布端を引っ張って本体の布端に合せながら少しずつミシンをかけていきます。クリップだけでは不安な方はしつけをしてください。

- ①本体にのみ1.5cm幅で切り込みを入れる(8mm)

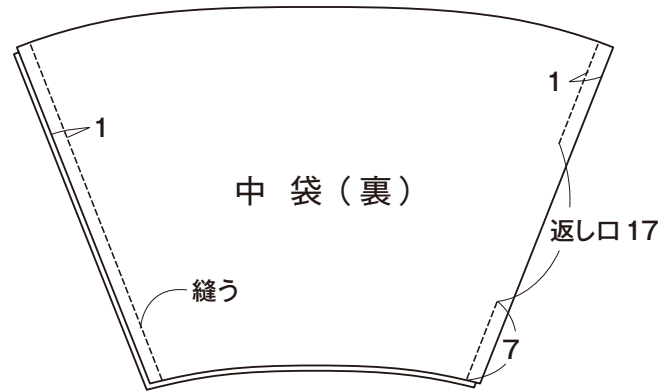


脇の縫い目より1.5cm横の部分から1.5cm間隔で5ヶ所ずつ(計20ヶ所)に切り込みを入れる。



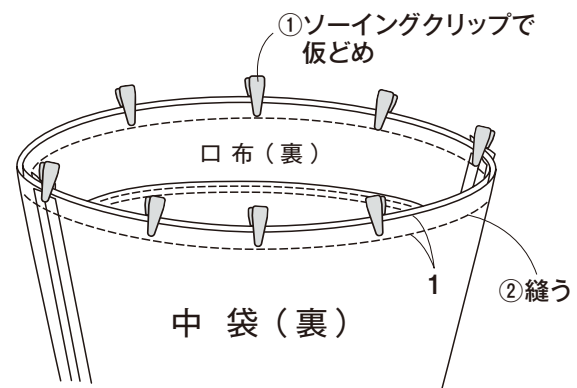
8 中袋をつくる。

- ・中袋を中表に合わせてマチ針でとめ、両脇1センチの縫い代で縫う(返し口は17センチ残す)
- ・アイロンで縫い代を割り(返し口の縫い代も割っておく)前ページの7と同様に、中袋と中袋底を縫い合わせる。



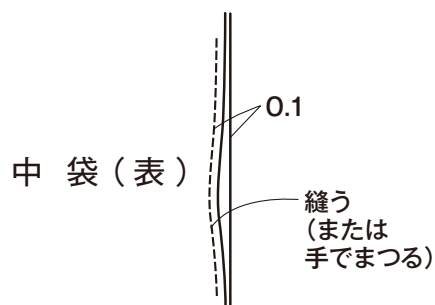
9 本体と中袋を縫い合わせる。

- ・中袋の中に中表になるように、本体を入れる。合印を合せてから、ソーイングクリップでとめる→①
- ・縫い代1センチで縫う→②



10 袋口の縫い代をアイロンで割り、中袋の返し口から表に返す。

11 返し口を閉じて、本体に中袋を入れる。



12 袋口の端から2ミリにステッチをかけ、完成。

